

SSH-地学野外実習（南房総編）

5月23日

SSHコース2年生（11名）、SSHコース3年生（5名）および地学部生徒3名からなる19名の生徒が、南房総（勝浦・鴨川地域）において野外実習を実施しました。企画は本校地学科職員 山田和洋 教諭と3名の地学部生徒によるものです。勝浦地域では500万年前の砂泥互層やウニの生痕化石、鴨川地域では枕状溶岩やシートコンプレックスを観察し、その成因を考えました。



砂泥互層を説明する山田和洋 教諭（勝浦地域）

SSHコース2年生については、この研修内容をレポートとして報告することになっています。地学職員一同、楽しみにしております。



シートコンプレックスの観察（鴨川地域）